

令和5年度学校評価について（教職員）

令和6年2月実施

【スクール・ミッション】

「自主 友愛 創造」の理念のもと、自ら考える力、相互の人格を尊重する姿勢、広く深く学び続ける向上心やチャレンジ精神を備え、主体的に未来を創造することのできる人材を育成する。

評価項目	番号	実践目標	4段階 評価平均	回答別人数割合 (%)			
				4よくで きた	3できた	2あまり できな かった	1できな かった
学校経営 の重点	特色ある学 校づくり	1 知識や技能だけでなく、思考力や学びに向かう力を身に付けることで、学力の定着を実感し、切磋琢磨できる授業環境を整えているか。	2.7	2.1	70.8	22.9	4.2
		2 コミュニケーション能力の向上を目指し、社会に参画し貢献できる人づくりを進めているか。	2.8	14.6	56.3	25.0	4.2
		3 地域の人材を教育活動に活用するなど、学校周辺の環境を活かした地域と連携・協力した教育活動を展開しているか。	2.8	14.6	56.3	22.9	6.3
		4 特色類型「環境とコミュニケーション」において、身近な環境問題を通して、自ら課題を見つけ、自ら考え、他者とも意見を合わせて協力し、課題解決能力や情報発信力を育てているか。	2.8	18.8	52.1	18.8	10.4
	その他	5 アドミッション・ポリシーを推し進めるために、オープン・ハイスクール等の広報活動を見直し、夢や希望に向けて継続して努力し前向きに学校生活を送ることができる生徒を募集する活動を実施するとともに、本校の生徒自身が発表し活躍する場を提供することで、自己肯定感を高めているか。	2.9	20.8	56.3	16.7	6.3
		6 「兵庫県立西宮南高等学校いじめ防止基本方針」に基づき、定期的なアンケート調査や教育相談等の実施により、いじめの積極的な認知と、未然防止、早期発見・早期対応における組織的対応を図ることで、安全・安心な学校づくりを行っているか。	3.1	27.1	62.5	8.3	2.1
		7 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づき、勤務時間の適正化に取り組み、教員の勤務環境を整備し、生徒と向き合う時間を確保できているか。	2.3	2.1	41.7	39.6	16.7
教科指導 及び生徒指導 の重点	教科指導	8 学力の三要素である「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく身に付けさせることに加え、課題の発見・解決に向けて主体的・対話的で深い学びの視点から多様な学習形態を展開しているか。	2.8	6.3	70.8	18.8	4.2
		9 少人数授業や習熟度別授業、補充的・発展的な学習など、多様な学習形態を展開するとともに、目標を持って学習に取り組み、達成感を味わえるように、評価方法の工夫・改善に努め、指導と評価の一体化を進めているか。	2.8	6.3	68.8	20.8	4.2
		10 公開授業や研究授業等の機会を設け、生徒にわかりやすく魅力的な授業についての研究の機会を設けるとともに、BYOD端末の活用方法について研究し実践しているか。	2.5	2.1	56.3	29.2	12.5
	生徒指導 特別活動	11 生徒と教師の信頼関係をもとに、日常の学校生活の中で規律ある行動、端正な服装、気持ちよい挨拶等、明るく安全な生活を営む習慣や態度を身に付けさせるとともに、一人一人の生徒の内面的理解を深め、社会性を培い、自主性・自律性の育成に努めているか。	3.0	20.8	58.3	18.8	2.1
		12 学校生活への不適合性の早期発見と適切な対応ができるように、家庭・地域や関係諸機関と連携し、教育相談の充実を努めているか。	2.9	14.6	64.6	18.8	2.1
		13 年度当初に自転車通学者集会を実施し、自転車の危険性について情報提供を行うとともに、定期的な登下校指導を実施することで、交通安全指導を充実させているか。	3.0	22.9	56.3	18.8	2.1
		14 ホームルームにおける活動を充実させ、生徒と学級担任との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係の実現に努めるとともに、生徒会や各種委員会の役割を自覚させ、自主的・建設的な活動を促しているか。	2.9	10.4	70.8	18.8	0.0
		南高祭・体育大会・球技大会等の学校行事を通して、互いに協力する態度を身に付け、社会の集団の一員としての自覚を促しているか。	3.2	33.3	58.3	6.3	2.1
		部活動の活性化と調和の取れた心身の成長を促し、健やかな身体を備えた逞しい青年の育成を目指しているか。	2.9	12.5	70.8	14.6	2.1

評価項目	番号	実践目標	4段階 評価平均	回答別人数割合 (%)			
				4よくで きた	3できた	2あまり できな かった	1できな かった
教科指導 及び 生徒指導 の重点	進路指導	15 教科指導、ホームルーム活動等あらゆる機会を通して、勤労観、職業観を育成し、生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択し決定することができるキャリア教育の推進に努めているか	2.9	18.8	54.2	27.1	0.0
		16 綿密な指導計画に基づき、生徒の持てる能力を大いに伸ばし、将来の進路の選択肢が広がるよう組織的な進路指導体制を確立しているか。	2.8	14.6	52.1	29.2	4.2
		17 進路に関わる社会情勢がめまぐるしく変化していくなかで、多様化する生徒の進路選択に対応できるように必要な情報・資料を的確・迅速に提供しているか。	2.8	14.6	58.3	20.8	6.3
		18 新たな入試制度への対応を進めているか。	2.7	12.5	50.0	33.3	4.2
	情報教育	19 情報化社会に対応できるよう、積極的に情報機器の導入を図るとともに、情報を主体的に発信・伝達できる力を育成しているか。	2.6	6.3	52.1	35.4	6.3
		20 特色ある学校づくりを進めるため、情報機器を効果的に活用した授業を展開し、指導方法の工夫・改善に努めているか。	2.5	2.1	54.2	37.5	6.3
		21 コミュニケーションツールの利用拡大に伴うトラブルの増加を踏まえ、情報機器活用についての倫理観や情報モラルを養い、情報の信頼性・信憑性について意識させる指導を行っているか。	2.7	8.3	58.3	29.2	4.2
	人権教育	22 教科指導、特別活動等の学校教育活動全般を通して人権尊重の意識や人権教育に関する意識（知識的側面、価値・態度的側面、技能的側面）を高めるとともに、一人一人を大切にすることを教育の充実に努めているか。	3.0	16.7	66.7	14.6	2.1
		23 人権尊重の精神に徹し、差別を解消するために、命を大切に、多様性を認め、互いの価値観を認め合える思いやりの心の育成に努めているか。	3.0	20.8	62.5	14.6	2.1
		24 人権に関わる今日的な課題の解決に向け、推進体制を確立し計画的・総合的に取り組むため、「共に生きる社会」の構築を目指し教職員の研修を深めているか。	2.8	14.6	56.3	25.0	4.2
読書指導	25 読書に対する関心と意欲を高めるように図書室の整備を図るとともに、教科指導・生徒指導の充実に向けた活用に努めているか。	2.5	6.3	45.8	35.4	12.5	
	26 あらゆる機会を通して読書量を増やし、全ての学力の基本となる読む力を身に付けさせるよう組織体制の充実に努めているか。	2.3	0.0	37.5	50.0	12.5	
健康管理 に関する重点	学校安全 保健安全	27 生徒による保健委員会の活動を推進し、健康意識の高揚に努めるとともに、学校保健委員会、安全衛生委員会を定期的に開催し、生徒・教職員の健康・安全管理に努めているか。	2.2	7.0	42.3	15.5	35.2
		28 生徒・教職員の健康状態を常に把握し、疾病の早期発見に努め、予防・治療を促しているか。	2.6	10.4	52.1	29.2	8.3
		29 支援や配慮が必要な生徒についての「困りごと」や「支援策」について、全職員で共通理解を図るとともに、研修などを通じて配慮できる組織的な体制づくりに努めているか。	2.7	8.3	60.4	22.9	8.3
			全ての生徒が気持ちよく学校生活を送り、自己肯定感を高める環境づくりを進めるとともに、生徒に安心感を与える接し方や生徒の心に寄り添った対応・指導を行っているか。	2.8	8.3	68.8	14.6
		30 安全意識の高揚を図るため、安全教育を実施するとともに、校内外の安全点検に努めるとともに、清掃活動の徹底に努め、校内緑化に取り組み、教育の場に相応しい環境づくりに努めているか。	2.9	12.5	68.8	14.6	4.2

評価項目	番号	実践目標	4段階 評価平均	回答別人数割合 (%)			
				4よくで きた	3できた	2あまり できな かった	1できな かった
高校生「キャリアノート」及び「キャリア・パスポート」の活用	31	「総合的な探究の時間」や特別活動において、人生をデザインすることを考えさせることを通して、多様な生き方について自ら主体的に調べたり考えたりしてキャリア形成に努めているか。	2.7	10.4	58.3	25.0	6.3
	32	小中学校から引き継がれる「キャリア・パスポート」を個人面談や進路相談、また「総合的な探究の時間」やLHR等で活用し、教師が対話的に関わることで、生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげているか。	2.2	2.1	39.6	35.4	22.9
高校生ふるさと貢献活動	33	地域清掃活動や、高須フェスティバルやその他地域のイベントなどを通して、生徒の自主性を育み、生きる力を育てるために、生徒会活動・学校行事・部活動の積極的な推進を図り、ふるさとを誇りに思う心を養っているか。	3.1	31.3	52.1	12.5	4.2
高校生就業体験事業	34	インターンシップを通して、職業に対する理解を深め、正しい職業観や勤労観を育成し、将来正しい職業選択ができるようにしているか。	2.8	10.4	62.5	18.8	8.3
	35	ふれあい育児体験（近隣の保育所と連携して行っている保育所実習等）を実施できているか。	2.9	21.3	51.1	21.3	6.4
県立高校魅力アップ推進事業	36	「総合的な探究の時間」における課題解決学習や特色類型のフィールド実習などを通して、主体的に未来を創造するために、チャレンジ精神を持って、現代社会の多様な課題を解決しようとする中で、自己肯定感を高めているか。	2.8	14.6	60.4	16.7	8.3

【アンケート結果より（分析）】

・生徒アンケートでは、全般的に前年度と大きく変化していないが、概ねどの項目についても、学年が上がるにつれて上昇しているものが多い。しかし、4（家庭学習への取り組み）、8（学校からの情報の保護者への伝達）、10（積極的な部活動）の項目で3.0ポイントに満たない状況となっている。

なお、1（本校に入学して良かった）、2（先生が悩みや相談に応じてくれる）、5（学校行事等への積極的な参加）、9（学校行事等の満足）、10（積極的な部活動）の項目で、3年生の評価が他学年に比べて上がっていることが認められる。また、卒業に際して3年生の満足度は、10点満点の「7.62」で、前年度の「6.78」を大きく上回っている。

・保護者アンケートのうち、No.1（本校の情報が家庭に正しく伝わっているか）では、全体的に昨年度の比較するとやや減少している。一方、No.7（学校行事の充実）では、全体的にやや増加している。

・教職員アンケートのうち、実践目標の内容が変更となった項目も多いが、前年度と同様の実践目標において増減があった項目は、勤務時間の適正化や高校教育課事業である「高校生ふるさと貢献活動」やインターンシップを含むキャリア形成に関する項目で上昇が見られた。保健委員の活用は、本年度は実施できたが、今後さらなる活性化が期待できる。